第4号
平成29年 1月 1日発行
発行責任者：西村　信一

社会福祉法人 雄勝福祉会広報

郷土

社会福祉法人雄勝福祉会は今年で法人設立から36年
おかげさまで、3回目の酉年を迎えました

2017
法人設立
36周年
社会福祉法人雄勝福祉会

平成4年
開設10年目

法人設立翌年昭和57年に開設した障がい者支援施設 愛光園。
今年で開設35年となり、園庭に植栽した木々も大きく成長しました。

題字　木村　恒助氏

もくじ

P.2　年頭ご挨拶
2016年に新しい家族が増えた職員の方々の今年の抱負

P.3　地域公開研修会
雄勝福祉会ホームページ開設のお知らせ

P.4　障がい者支援施設 愛光園
－一日施設長
特別養護老人ホーム 平成園
－防犯訓練
平成園ｻﾃﾗｲﾄ型特別養護老人ホーム
小規模多機能型居宅介護事業所 ぬくもりの里 たてやま
－唄のボランティア訪問

P.5　複合施設 ぱあとなあ
多機能型事業所 かざぐるま
－他機関の協働による包括的支援構築モデル事業
－喫茶ふれんどりからのお知らせ

P.6　特別養護老人ホーム 幸寿苑
－口腔ケア研修会
－感染症対策研修会
東成瀬村デイサービスセンター なるせ
－地域ふれあいレクリエーション
－なるせ保育園との合同発表会

P.7　特別養護老人ホーム　サン・グリーンゆざわ
－みたけ保育園　ミニ発表会
サテライト型特別養護老人ホーム 桜おかだ
互助ハウス 桜おかだ
－互助ハウスより
小規模多機能型居宅介護事業所 桜おかだ
－感染症勉強会

P.8　雄勝福祉会からのお知らせ
－平成28年度障害者雇用優良事業所表彰
－法人合併のお知らせ
－地域参加型研修会のご案内
－マンガで見る　こんな時の介護保険

平成29年元旦を迎えて　　社会福祉法人雄勝福祉会　理事長　西村 信一

明けましておめでとうございます。地域の皆様や様々な分野のボランティア、湯沢市をはじめとする関係機関の皆様から賜りました温かいご支援、ご協力に厚くお礼申し上げます。

さて、新しい年を迎えて、一年を振り返ってみますと、昨年11月26日に湯沢市雄勝文化会館オービオンで開催された雄勝福祉会恒例とも言える「地域公開研修会」が一番印象に残りました。講師に厚生労働省社会・援護局長定塚由美子氏をお迎えし、日本の近年急激に改革が進みました社会保障制度について触れ、これから目指します国の動向を次のように分かりやすくお話いただきました。平成12年の社会福祉基礎構造改革を契機に、社会福祉事業から社会福祉法に、中央集権から地方分権に大きく舵を切り、この改革の精神を盛込んだ介護保険制度の具現化に加え、措置制度から契約制度に転換した制度改革が行われ、その後も様々な制度改正や制度創設が加えられましたが、対象別、年齢別に分かれた制度の縦割りが、地域で生活する市民にとって機能しないことが多く、特に制度の狭間にある方々の抜け漏れのない支援が社会問題として提起されました。平成27年度施行の生活困窮者自立支援制度をきっかけに、地域の様々な社会資源を包括的に構築し、共生型の支援体制、いわゆる地域包括ケア体制に向けた方向性を共有し、実践に結び付けていくことが重要であるとの講演内容でありました。

湯沢市が厚生労働省からモデル事業の指定を受けている「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」について、社会福祉法人の進むべき方向性と今後の社会福祉はどのように変わろうとしているのか、実践報告者から忌憚のないお話がありました。

雄勝福祉会は、平成29年4月、特別養護老人ホーム「いさみが岡」を運営する社会福祉法人「なごみ会」と合併することになりました。この法人合併を機に、この度の公開研修会は、これからの社会福祉法人の道しるべを見直すよい機会になったと捉え、平成12年から駆け足で飛び込んだ介護保険制度施行後、各制度の変遷を得ながら、社会福祉法人改革といわれた社会福祉法が改正され、私も長きにわたり社会福祉法人に係わってきましたが、率直に言って素直に受け止めることができないものもありましたが、この度の公開研修の資料をよく読んでみましたら、雄勝福祉会の理念に基づき、社会福祉法改正という大きな節目を機に、この難関を乗り越え、地域は自分たちが主役となって、安心できるまちづくりをしていくんだという気持ちを共有する研修会であったことを念頭にし、「故きを温ねて新しきを知る」新年にしたいと心を新たにした次第であります。

社会福祉法人合併を迎える新年のご挨拶を申し上げますとともに、本年もよろしくお願い申し上げます。

2016年に新しい家族が増えた職員の方々の今年の抱負をご紹介します

愛光園　佐藤　真由子・吉衛
6月　葵大（あおと）くん
家族が増え賑やかな年を迎えました。色とりどりの明るい一年になりますように。

平成園　金　則子
3月　結月（ゆずき）ちゃん
生まれてきてくれてありがとう。これから結月のもとにたくさん楽しいことがありますように。

平成園　麻生　美幸
8月　琉斗（るいと）くん
二人目少し体が弱く、入退院の繰り返しあったので、今年は病気をせず元気にすくすく育ってほしいと思います。

たてやま　阿部幸子・浩樹
9月　煌大（あきと）くん
9月に生まれた次男、そんな弟を可愛がる長男これからも仲良く、心も体も大きく成長してほしいと願っています。

かざぐるま　新山　韻
1月　蒼一郎(そういちろう)くん
子供と出会え一緒に過ごせる喜びをかみしめる毎日です。皆さんの心遣いに感謝しています。復職後は仕事・育児ともに頑張ります！

かざぐるま　菅　結子
7月　充希（みつき）くん
毎日、子供の成長を感じながら貴重な時間を過ごしています。今年は仕事と育児を両立し、充実した毎日を送れるよう頑張ります。

ぱあとなあ　小松　瞳美
10月　暖（ひなた）ちゃん
昨年はたくさんの方に支えられて公私ともに充実した1年になりました。今年も感謝の心を忘れず、仕事に育児に励みたいと思います。

ぱあとなあ　伊藤　真理子
4月　颯星（はやせ）くん
仕事も家事も育児も、ほどよく力を抜きながら、笑顔を忘れずに頑張っていきたいと思います！

ぱあとなあ　鶴川　千昌・雄貴
2月　名雄（なお）くん
昨年は第二子が産まれ、笑顔にあふれた年でした。職場の皆さんのご理解に感謝し、今年も仕事と育児を頑張りたいと思います。

平成28年度 社会福祉法人雄勝福祉会 公開研修会

～誰もが安心して共に暮らせる社会～
『地域で共に生きる』

平成28年11月26日（土）雄勝文化会館オービオンを会場に、社会福祉法人雄勝福祉会「公開研修会」が開催されました。今回の研修会は、4月に社会福祉法人改革が盛込まれた社会福祉法の改正にあわせ、「社会福祉法人に期待される、これからの社会福祉はどのように向かっていくのか」について、国のモデル事業の実践報告も兼ねた形で開催されました。

はじめに、「『我が事・丸ごと』地域共生社会の実現に向けて」と題して、厚生労働省社会・援護局長 定塚由美子氏から基調講演を頂きました。

今年６月閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」における「地域共生社会の実現」についてのお話しをいただきました。

新たな時代に対応した福祉サービスの提供は、各施策の狭間にある方や引きこもり状態にある方、障害のある方、生活に困窮されている方、若年認知症、難病患者やがん患者など、支援を必要としている人を包括的に支えられる仕組みにしていかなければないことから、制度ごとに行っていた相談体制を「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」により、政策の参考にするため全国でモデル事業を進めています。

一億総活躍プランにおける「我が事・丸ごと」の基本の考え方は、地域社会の構成員である一人ひとりが、地域で支援を必要としている人を「他人事」として捉えるのではなく、いずれ「我が事」になったときに、地域を「丸ごと」支えられる地域づくりを、各自治体の特徴に照らし合わせて、住民主体による体制づくりを進めていきたい。その意味では、湯沢市の取組を期待しています…という、分かりやすい講演でした。

続いて、実践報告があり、湯沢市福祉保健部福祉課　障がい福祉班長　佐藤美奈子氏と社会福祉法人雄勝福祉会人材育成次長 佐藤 博氏より、国のモデル事業である「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」について、湯沢市の取り組みの現状を、市民への周知として発表して頂きました。

佐藤班長からは、湯沢市では湯沢市総合振興計画、第２期湯沢市地域福祉計画「誰もが住みなれたまちで、互いに支え合いながら自分らしく暮らしていく計画」を具体的に実現していくための手段として多機関の協働による地域包括体制構築モデル事業に取り組んでいる。これから、行政として、体制作りを進め、地域の皆様の御協力の基、誰もが安心して暮らせる社会を目指して行きたい。という発表があり、佐藤次長からは、人間の長い人生（ライフステージ）には、様々な事故や障害が生じる。そういう時に、人間は支援を必要とする。制度が充実したとはいえ、支援を必要とする人に使い勝手のいい制度でなければならないが、現在の制度は、「制度に人を合わせる」ものになっている。このモデル事業を通して、人に制度を合わせる体制作りの取組として「多機関の協働による地域包括支援体制構築」を国に政策提言する取り組みを行っていくという報告がありました。

最後に、定塚局長から、「湯沢市と雄勝福祉会の取り組みは、地域づくりを通して、住民参加型の体制を既に構築されており、こういう体制づくりができている自治体は少ない。今後のモデル事業の成果を期待している。」と感想を述べられ、研修会を終えました。

今研修会は、当法人の理念を地域と共に実践すべき姿・方向性をより深く学ぶ機会となりました。

ホームページ開設のお知らせ

社会福祉法人雄勝福祉会のホームページを開設しました。法人概要をはじめ各事業所のご案内・ご紹介を行っております。

サービス向上のため、様々な情報公開をしてまいりますので、ご利用いただきますようにお願いします。

アドレス http://www.ogachi-nagomi.net

障がい者支援施設 愛　光　園

湯沢市寺沢段ノ上４番地５
TEL 0183-52-4313
FAX 0183-52-4314

一日施設長

12月3日～9日までの「障害者週間」に合わせて、12月6日に愛光園一日施設長として、寺沢地区向上会　会長半田 好廣氏をお招きしました。

当日は、ご利用者、職員と身近な地域住民としての視点から、大変有意義な意見交換を行なうことが出来ました。半田氏からは、「愛光園での日常生活を直に感じ、地域に必要な施設として再確認できた。また、災害時の整備がしっかりしており、連携していくことで心強い。私も地域に啓発していきます。」とのお言葉を頂くことが出来ました。

特別養護老人ホーム 平　成　園

湯沢市小野字大沢田221
TEL 0183-52-5210
FAX 0183-52-5211

11/16 防犯訓練

不審者が侵入した時の防犯訓練を行いました。湯沢警察署生活安全課にお願いし、指導して頂きました。

不審者対応の心構えとして、まず初めに、常に危機感を念頭に置いておくこと。来園された方には積極的に声掛けをする。挙動不審と思われる方には、いつも通りの声を掛け、複数の職員で対応する。あらげだ(暴れる)場合は、複数で、毅然とした態度で対応する。大声で周りに応援を頼み、職員が連携しながら警察に通報する。

身の安全を図るために、机や椅子を利用し、不審者との距離をとる。事前の対応としては避難場所を予め決めておく。避難経路を想定しておく。警察に通報する人を決めておく。防犯道具を置く場所(使いやすい場所)を決めておく。有事の際の職員同士の連携を確認しておくことが大切というお話を頂きました。

その後、実技で暴漢に襲われた時の護身術と、受付での不審者対応と防犯用具さすまたの使い方を教えて頂きました。

ご利用者の安全を第一に考え、普段から緊張感をもちながら業務にあたっていくことが大切だと感じました。

平成園サテライト型特別養護老人ホーム 小規模多機能型居宅介護事業所 ぬくもりの里 たてやま

湯沢市上院内字小沢102-3
TEL 0183-52-3330
FAX 0183-52-5735

唄のボランティア訪問

たてやまに唄のボランティアの方々が訪問してくれました。地域の方々も足を運んでくださり、ご利用者とともに『北国の春』や『星影のワルツ』など、懐かしの歌を口ずさみました。

「この歌知ってる！」と笑顔で教えてくれたり、手拍子や体でリズムをとりながら楽しまれていました。懐かしい歌を歌い、昔の思い出話にも花が咲き、笑顔あふれる和やかなひと時を味わうことができました。

複合施設 ぱ あ と な あ

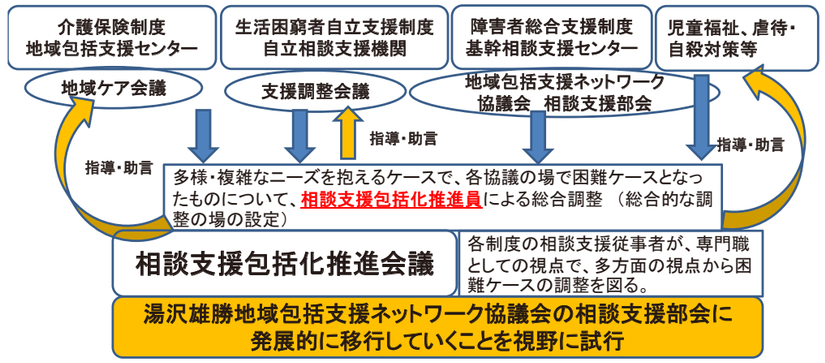
湯沢市字両神15-1
TEL 0183-72-8107
FAX 0183-72-8108

多機能型事業所 か ざ ぐ る ま

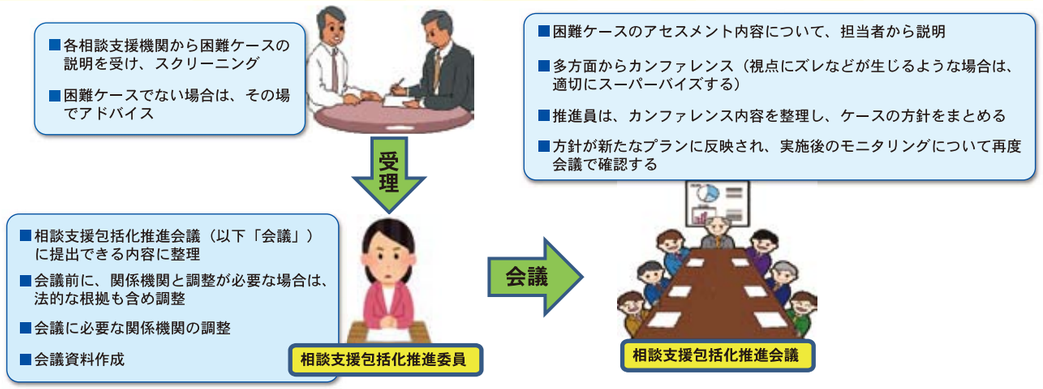
湯沢市字両神17-1
TEL 0183-72-1616
FAX 0183-72-5466

他機関の協働による包括的支援体制構築モデル事業

これまでは、介護保険や障害福祉サービス、生活困窮者制度等それぞれの制度ごとに相談窓口が設置されていました。今後は制度を人に合わせるのではなく、人に制度を合わせる体制を構築するモデル事業を実施することになり、湯沢市よりぱあとなあが委託されました。子育て、介護、障害、生活困窮等あらゆる生活上の心配・困り事について、様々な専門機関が連携し、ライフステージに合わせて、包括的に支える仕組みです。



相談支援包括化推進員と包括化推進会議の位置づけ



喫茶ふれんどりより お知らせです

営業時間
10月～4月10:00～17:00
5月～9月10:00～18:00
（月曜定休）

いつも喫茶ふれんどりをご利用いただきありがとうございます。喫茶ふれんどりは1月4日から営業開始いたします。おすすめ商品をご紹介いたしますので、是非ご覧ください！

※価格は全て税込表示となっております

特別養護老人ホーム　幸　寿　苑

雄勝郡東成瀬村田子内字二階野206
TEL 0182-47-3261
FAX 0182-47-3262

施設内研修あれこれ　口腔ケア研修会

ジュネスデンタルクリニック小菅院長をお招きし、口腔ケア研修会を開催しました。

お口の中をきれいに保つことで食事が美味しく食べられ、必要な栄養をしっかり摂っていただくことが誤嚥性肺炎をはじめとした疾病のリスクを大きく減らします。

みなさんは美味しく、
しっかり食べられていますか？

感染症対策研修会

「嘔吐!!」さてどうしましょう?!

「インフルエンザ」や**「ノロウィルス」**など感染症の流行する季節になりました。

今回の研修テーマは、「ベッド上での吐物の処理について」

安全、確実な処理を行うため多部門で協議をしながら感染症の蔓延防止に努めます。

皆さまも先ずは
“手洗い”“うがい”から

施設入居に関するご相談は　0182-47-3261　幸寿苑
在宅介護に関するご相談は　0182-47-3700　ケアサポート仙人の杜

東成瀬村デイサービスセンター　な　る　せ

雄勝郡東成瀬村岩井川字東村72
TEL 0182-47-3512
FAX 0182-47-3510

地域ふれあいレクリエーション

併設している「ゆるるん」にて、地域のみなさんとレクリエーションを行いました。歌を唄ったり、体操や風船バレーをして、ご利用者と地域のみなさんが一緒に笑顔にあふれた時間でした。

なるせ保育園との合同発表会

なるせ保育園発表会に参加させていただきました。6月から交流し、練習してきた歌や踊りを園児のみなさんと披露しました。みなさん「楽しかった」「面白かった」と発表会は大成功でした。

特別養護老人ホーム　サン・グリーンゆざわ

湯沢市裏門1-2-19
TEL 0183-72-6688
FAX 0183-72-6689

11/14 みたけ保育園 ミニ発表会

「こんにちは！！」元気いっぱいはち切れんばかりの声。みたけ保育園年長のみなさんの来園です。恒例のミニ発表会を開催していただきました。

立派ないでたちの華麗な踊りに「あや、人形さんみたいだ」「かっこいいな、うまいごど」とあちらこちらから声が。

リズミカルなダンスでは、一緒にからだを動かしたり、踊ったり、握手でお別れの時には、「1年生になったら勉強がんばれよ！」と激励も。

いつも以上にご利用者の方々の笑顔がいっぱいの楽しいひとときとなりました。

サン・グリーンゆざわ サテライト型特別養護老人ホーム　桜　お　か　だ　互助ハウス

湯沢市岡田町14-28
TEL 0183-72-8787
FAX 0183-72-8786

互助ハウス（法人公益事業）

10月下旬より、5名の方が入居されています。

湯沢市は県内でも豪雪地帯で知られています。ご高齢の一人暮らしの方が、冬場の除雪や、健康・体調面で自宅での生活が不安という事で入居されました。

入居されての感想を伺いました。「足腰が弱くなって体が思うように動かなくなり、冬場の生活は大変です。毎日の除雪作業や、寒い中ストーブに灯油を入れてタンクを持ち運びすることや、天気や足元が悪い中、食料・日用品の買い出し、毎日の食事作り・・・と言った数々の不安が、入居することにより解消されました。」との事でした。

また、特別養護老人ホームに職員が日中・夜間常駐しているので安心できるとのことでした。

各部屋に台所があり自炊できますが、皆さん、ここでの食事サービスを楽しみに過ごされています。

小規模多機能型居宅介護事業所　桜　お　か　だ

湯沢市岡田町14-20
TEL 0183-72-8717
TEL 0183-72-8718

11/21 感染症についての勉強会を行いました

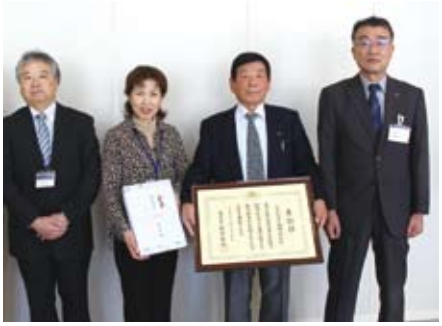
今のこの時期、インフルエンザやノロウイルスを中心とした感染症胃腸炎や食中毒が流行しております。

いずれも感染力が高く、感染症対策として、手洗いとうがいの徹底、換気と消毒、食品の管理、また、ガウンテクニックと汚物処理の仕方を確認しています。これからも十分気をつけていきたいと思います。

雄勝福祉会からのお知らせ

平成28年度 障害者雇用優良事業所表彰

11月30日、当法人が障害者雇用の重要性を認識し率先して雇用に努めその職業的自立に貢献しているとして秋田県産業労働部より表彰状が理事長に授与されました。



法人合併のお知らせ

法人合併のお知らせ

左記法人は合併して甲は乙の権利義務全部を引き継いで　存続し、乙は解散することにいたしました。

合併の期日は平成二十九年四月一日であり、両法人の評議員会の承認決議は平成二十七年七月二十一日に終了しております。

なお、この合併については平成二十八年十月三十一日付で秋田県の認可を得ております。

平成二十八年十二月二十日

秋田県湯沢市小野字大沢田二二一番地
（甲）社会福祉法人雄勝福祉会
理事長　西村　信一
秋田県湯沢市山田字勇ヶ岡五十番地
（乙）社会福祉法人なごみ会
理事長　京野　學

地域参加型研修会のご案内

地域ふれあいレクリエーション

＼みんな笑顔で　いきいきと／

日時 1月19日（木）14:00～14:30

場所 東成瀬村　地域交流センターゆるるん
雄勝郡東成瀬村岩井川字東村72

お申込み、お問い合わせは

デイ・サービスセンター なるせ　TEL 0182-47-3512

ミニクイズ

もんだい

雄勝福祉会の施設で、2016年に新しく建てられ、開設した施設はどこでしょうか？

① サン・グリーンゆざわサテライト型特別養護老人ホーム
　互助ハウス　桜おかだ

② 平成園サテライト型特別養護老人ホーム
　小規模多機能型居宅介護事業所 ぬくもりの里たてやま

③ 東成瀬村デイサービスセンター なるせ

マンガでみる こんな時の介護保険 第２話

前回までのあらすじ

家族４人で暮らすヨネさん。ある日、自宅のトイレで転倒したことをきっかけに、介護保険認定を申請しました・・・

ある日、自宅へ市役所から認定調査員がやってきました。「椅子から立ってみてください。」、「ちょっと歩いてもらいましょうか」、「今の季節は何ですか？」など身体の動きや認知面について詳しく調査してもらいました。

①

しばらくすると、封書に入った緑色の「介護保険者証」が届き、『要介護１』と印字されていました。
また、別の書類には、市内の事業所一覧とあり、そこには介護サービスを利用する際にはケアマネジャーに相談しましょうと書かれていました。

ヨネさんは家族と相談して、近所にあるＨ事業所に電話してみました。
翌日早速Ｈ事業所のケアマネジャーさんが自宅に来てくれて、様々なサービスについて、内容や費用などを分かりやすく説明してくれました。

②

ヨネさんの希望は
◎不安なく移動や外出したいなあ
◎友人、知人も少なくなり、交流や楽しいことをしたいなあ。
◎安全にお風呂にはいりたいなあ。
というものでした。

③

家族は、本人がしたいことをしてくれればいいということで、ケアプランには現在必要な３つのサービスを盛り込んでもらいました。

①住宅改修：玄関や通路に手すりをつけて安全に移動できる

大工さんとケアマネジャーさんがヨネさんの希望を聞き、必要な数か所に手すりをつけることにしました。

④

①デイサービス：
交流やレクリエーション活動をしながら、安全に入浴できる

自宅近くの人が多く利用している事業所を選びました。初めてなので少し不安があり、見学させてもらってから利用することにしました。
まずは週1回利用してみて、慣れてきたら回数を増やすことにしました。

⑤

③紙おむつ費支給：
尿取りパット購入の費用助成

尿取りパットを購入する際に、お店の人に「介護保険で申請する」ことを伝えて領収書と内訳を出してもらうことを教えてもらいました。
申請はケアマネジャーさんが代行してくれることになりました。

⑥

こたえ：①サン・グリーンゆざわサテライト型特別養護老人ホーム互助ハウス　桜おかだ